

防災よこすか

第73号



写真提供 横須賀写真ライブラリ

「野比海岸のお焚き上げ」

地元の方々が持ち寄った古いお札やお正月の松飾、縁起ものなどを焼いて1年を振りかえり、新しい年の家内安全と無病息災を祈る行事です。横須賀市内の海岸線でも数多く行われています。

目 次

会長あいさつ	1
・横須賀危険物安全協会 会長 大庭 大	
地域貢献事業 《久里浜少年院への危険物取扱者試験テキスト寄贈》	2
・資格取得を目指す少年たちへ危険物取扱者試験対策テキストを寄贈しました。	
第55回定例総会	2
・新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、書面会議で実施しました。	
危険物安全週間（令和2年6月7日～13日）	2
・危険物施設を保有する会員事業所へ自主点検の協力を依頼しました。	
授賞された会員様のご紹介	3～4
・式典中止により、賞状の授与のみ実施。9名の方々が授賞されました。	
火災予防啓発事業 《市内の小学3年生へ防火・防災クリアファイルの寄贈》 ..	5
・市内の小学3年生全員に防火・防災の授業に役立てていただくため寄贈しました。	
救命講習会 《第1回普通救命講習会・第2回外傷救護法講習会》	6
・消防局として初めてとなる外傷救護法講習会を当協会で開催しました。	
危険物保安セミナー	7
・消毒用アルコールに係る法令規制や留意事項についてのセミナーを開催しました。	
令和2年秋季火災予防運動 《消防活動検討会》	7
・会員事業所と横須賀市消防局が連携し、消防活動検討会を開催しました。	
協会員だより	8～10
・社会福祉法人聖テレジア会 聖ヨゼフ病院 防火管理者 野沢 剛 様	
・住友重機械工業株式会社 横須賀製造所 総務G 下田 孝雄 様	
・社会福祉法人 日本医療伝道会 衣笠病院グループ 法人事務局 総務部長 角田 雅弘 様	
令和2年度中の法令改正による動向	11～12
・ガソリンスタンドでの中古車販売やキッチンカーの営業販売 (消防危 第88号 令和2年3月27日通知)	
・ガソリンスタンドでのタブレット端末による給油許可 (消防危 第87号 令和2年3月27日通知)	
・申請書等への押印の廃止 (消防危 第284号 令和2年12月25日通知)	
令和2年中の横須賀市消防局管内における火災・救急 出場件数等	13



会長あいさつ

横須賀危険物安全協会

会長 大庭 大

横須賀危険物安全協会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年5月に開催された当協会の定例総会（書面会議）において、会長にご推挙いただきました大庭^{まさる}大でございます。諸先輩方が築かれた歴史と伝統を胸に刻み、誠心誠意努力してまいっている所存でございますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、今や地球規模の災禍となった新型コロナウイルス感染症の流行により、3月末、東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定しました。その後、緊急事態宣言の発令により、出勤の自粛や飲食店等の営業制限などを強いられ、今なお、日本全体の社会経済活動に甚大な影響を及ぼし続けています。暮らし方や働き方が根底から変わり、会員事業所の皆様方におかれましても、この未曾有の危機に対応すべく試行錯誤を続けられていることと存じます。

そして今年、あの東日本大震災から10年。

改めまして、被災された方々に対しお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福と被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

当日を思い出しますと、本市も大きな揺れに見舞われました。大津波警報が発令され、大規模停電が発生し、一時的に避難所生活を余儀なくされた方もいました。各会員事業所にも大きな影響があったと存じますが、幸いなことに人的被害はなく、危険物関連設備の被害も最小限に留めることができたと聞いております。これは、日頃から各会員事業所で行われていた保守点検や訓練の賜物であり、当協会の誇りであります。

昨今は、新型コロナウイルスの印象があまりに強く、震災を始めとした災害の記憶が薄れつつあるのではないかと危惧しています。私たちの命や財産を脅かす地震や台風、火災などの災害は、コロナ禍とは無関係に、いつでも発生するおそれがあることを忘れてはなりません。

新型コロナウイルス感染防止のための物理的距離は保ちつつも、会員間、消防関係機関並びに神奈川県危険物安全協会連合会をはじめとする各地区協会との連携はできる限り密にし、防火・防災体制の充実強化を推進していきたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、どうか今後ともご支援とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

結びに、会員皆様の益々のご発展とご健勝、並びにコロナ禍の一日も早い終息を心から祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

地域貢献事業

《久里浜少年院への危険物取扱者試験テキスト寄贈》



令和2年4月20日（月）、危険物取扱者の資格取得を目指す久里浜少年院の少年たちを支援するため、試験対策テキスト10冊を寄贈しました。

第55回 定例総会

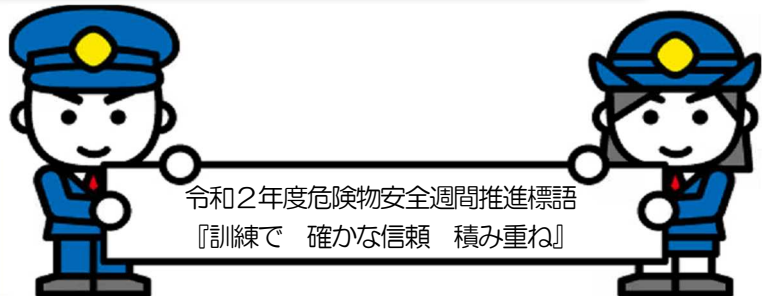
（書面会議）

第55回定例総会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、書面会議で開催しました。

第1号議案の令和元年度事業経過報告、第2号議案の令和元年度収支決算報告及び会計監査報告、第3号議案の役員の改選、第4号議案の令和2年度事業計画（案）及び第5号議案の令和2年度収支予算（案）について審議が行われ、原案のとおり承認されました。

危険物安全週間

（令和2年6月7日～13日）



令和2年6月7日から6月13日まで、全国一斉に「危険物安全週間」が実施されました。各会員事業所では、施設の自主点検、保安教育、地震・津波対策の確認、消防訓練等の取り組みが行われました。



株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

受賞された会員様のご紹介

令和2年度中の各種表彰式は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。表彰式で表彰される予定であった当協会の会員の皆様へ、事務局より賞状の授与を行いました。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰



会員感謝状

よこすか平安閣 市川 雅己 様



優良危険物関係事業所

有限会社津久井浜商事 様

授賞された皆様、おめでとうございます！！

関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰



協会発展と災害防止功労（個人）

池内精工株式会社 丸岡 敬典 様

（一社）神奈川県危険物安全協会連合会会長表彰

授賞された皆様 おめでとうございます！！



安全功労 危険物防災思想の普及と
災害防止功労（個人）
馬淵物流株式会社 家藤 守雄 様



優良危険物事業所
一般財団法人電力中央研究所
横須賀運営センター 様



優良危険物事業所
京浜急行バス株式会社 久里浜営業所 様



優良事業所
横須賀タクシー株式会社 様



優良危険物取扱者
日産自動車株式会社追浜工場 重森 克美 様



優良危険物取扱者
湘南菱油株式会社 磯 道夫 様

火災予防啓発事業

《市内の小学3年生へ防火・防災クリアファイルの寄贈》

消防局と連携した火災予防啓発事業の一環として、防火・防災について学んでいる市内の小学校三年生に、火災や地震の際にとるべき行動を、市のイメージキャラクター「スカリン」のイラストとともにわかりやすく掲載したクリアファイルを3,000枚作成し、寄贈しました。



クリアファイル
デザイン



両面デザイン

「両面デザイン」と話している。

横須賀危険物安全協会
防火・防災クリアファイルを寄贈

消防局と連携した火災予防啓発事業として、横須賀危険物安全協会が火災や震災時にとるべき行動を、市のイメージキャラクター「スカリン」のイラストとともにわかりやすく掲載した防火・防災クリアファイルを作成し、市内小学3年生（約3000人）に配布するため、9月9日、市役所本館1号館で贈呈式が行われた。

同協会は市内で危険物を貯蔵、取り扱う事業所などが会員となり、危険物災害多発の現状を踏まえ、また、広く地域貢献を行っていくという意味で防火・防災クリアファイルを作り、市内の小学3年生に寄贈した。

大庭会長は「近年の災害の防止に努めるとともに、市民への火災予防啓発活動、地域社会への貢献活動を推進している。この日は、同協会の大庭会長から教育総務部総務課の新倉聡教育長、米持正伸学校教育部長に防火・防災クリアファイルが手渡された。

はまかせ新聞
【横須賀・三浦・湘南版】
9月18日号に
掲載されました！！

救命講習会

《第1回普通救命講習会・第2回外傷救護法講習会》

地域貢献事業の一環として、ヴェルクよこすかで救命講習会を2回開催しました。

第1回目は令和2年10月6日（火）の普通救命講習会です。14名の会員が参加し、目の前で突然倒れた方の命を救うため、心肺蘇生法とAEDの使用方法等を学びました。

第2回目は11月30日（月）の外傷救護法講習会です。会員の皆様から要望を受け、今年度から開催しました。消防局としても初の開催であり、16名の会員が参加し、交通事故や労働災害を想定した負傷者に対する「止血法」や「首の固定法」など、外傷救護活動に必要な手当てを学びました。

両講習会とも、新型コロナウイルスの影響により、参加人数が限られた中ではありましたが、講師である横須賀市消防局救急課職員の指導のもと、全員が熱心に取り組み、講習終了後には修了証が交付されました。



たくさんのご参加
ありがとうございました！



ご好評いただいている事業ですが
人数に限りがございますので、
お早めにお申し込みください！



危険物保安セミナー

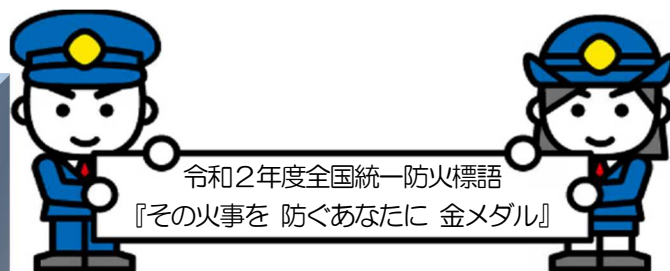
令和2年11月10日（火）、ヴェルクよこすかにて、危険物保安セミナーを開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、消防法の危険物に該当する消毒用アルコールの使用機会が増えています。このことから、消毒用アルコールに係る法規制や危険性等についてのセミナーを行いました。

講師である横須賀市消防局予防課職員から、届出等が必要となる保管量をはじめとした法令による規制内容や、アルコールの危険性、事故防止のためのポイントの説明を受けました。さらに、複雑でわかりにくいといわれる、アルコール等の危険物を収納する容器の基準などについての解説もありました。新型コロナウイルスの影響で人数制限のある中ではありましたが、19名の方々が熱心に受講されました。



令和2年秋季火災予防運動 《消防活動検討会》



令和2年11月9日から15日まで、全国一斉に「秋季火災予防運動」が実施されました。

火災予防運動におきましては、会員事業所の皆様にはポスターの掲示等の啓蒙活動にご協力くださいまして感謝申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、例年実施していた駅前広報などは中止となりました。

会員事業所と消防局が連携した取り組みとして、東邦化学株式会社追浜工場と管轄消防署等で、災害時に必要な情報を双方で共有し、災害時の即時体制の強化を図ることを目的とした消防活動検討会が行われました。



協会員だより



社会福祉法人 聖テレジア会

聖ヨゼフ病院

社会福祉法人聖テレジア会

聖ヨゼフ病院

防火管理者 野沢 剛

梅花の候、会員の皆様におかれましては、コロナ禍にあってもますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。

聖ヨゼフ病院は旧日本海軍が1939年に建設した「横須賀海仁会病院」が前身であり、湾曲した敷地に合わせた凹局面が特徴的な建物でした。その後1945年に敗戦とともに米海軍へと接收され、当時の米海軍横須賀基地司令官デッカー大佐により一般市民に開放すべく、1946年「聖ヨゼフ病院」として開院しました。以後、地域ニーズに対応すべく一部増改築を行い、1939年に建設された本館は当時のまま外来診療室、入院病棟として長年に亘り使用していました。

このような歴史的建造物ともいわれた建物でしたが、経年による老朽化や耐震の問題等があり、2016年より新棟建設計画の具体的な検討を開始。来院者用の駐車場約50台分のスペース及び管理棟を解体し、そこへ新棟を建設することとなりました。この計画に基づき2017年11月より解体工事を開始、2018年4月より本体工事が着工。そして2020年2月建物が完成、同年3月24日新棟開院の運びとなりました。

新棟本館は地上6階の建物であり、1階が外来診察室・救急診察室・薬剤科・放射線科・検査科・リハビリテーション室等、2階が手術室・厨房・管理者諸室・会議室等、3～6階が入院病棟という配置となっています。また、従前は病院へのアクセスとして急勾配の坂道を登らなければなりませんでした。それを解消すべく別棟で3階建てのエントランス棟を併設し、グランドレベルからエレベーターを経由し、本館へとアクセスが可能となりました。

新棟が開院し、大きな診療体制の変更はありませんが、「キリストの生き方に基づいた惜しみない人間愛」を基本理念に、長年に亘り培ってきた温かい医療を継続しつつ、今後も地域医療の一翼を担うべく貢献していきたい所存です。最後に、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



聖ヨゼフ病院 新棟

協会員だより



住友重機械工業株式会社
Sumitomo Heavy Industries, Ltd.

住友重機械工業株式会社
横須賀製造所
総務G 下田 孝雄

会員の皆様におかれましては、コロナ禍にあってもますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。

横須賀製造所は住友重機械工業株式会社国内7事業所の1つで、横須賀市夏島町に位置し、敷地面積は約523,000㎡と国内で2番目の大きな事業所であります。

1972年に追浜造船所として開設され、1997年に横須賀造船所、2000年に横須賀製造所と改称され現在に至ります。

開所当時の名称の通り、タンカーを始めとする大型船や鋼構造物の設計・製造を行ってまいりましたが、2000年代初頭より、従来の造船業に加え、住友重機械グループ製品の技術研究部門、システム制御装置、レーザー加工システム、半導体位置決め装置などのメカトロニクス製品部門、ジェット機エンジン部品等の精密鍛造品部門、水環境分析部門が集約されております。

防火・防災に関しましては、製品群の異なる事業ユニットから権限者が集まり、審議事項の協議や情報交換等を年4回の防火・防災委員会を始め、各種委員会にて実施、毎月の現場パトロールにより、防災強化に努めております。

危険物の取り扱いとしましては、船舶用塗料、金属加工機の潤滑油、運搬作業車の燃料等を始め、水質分析で使用する薬品類と多岐にわたります。

多種多様な火災・爆発リスクを未然に防止するための内部監査組織の構築、日々の点検等の未然防止活動に努め、安全で安心な操業に邁進してまいりました。

これからも、一層の火災防止活動に励んで参りますので、消防局、各消防署関係者の皆様並びに協会員の皆様のご指導、宜しくお願い致します。



住友重機械工業株式会社
横須賀製造所 全景

協会員だより



総合病院 衣笠病院

社会福祉法人 日本医療伝道会

衣笠病院グループ 法人事務局

総務部長 角田 雅弘

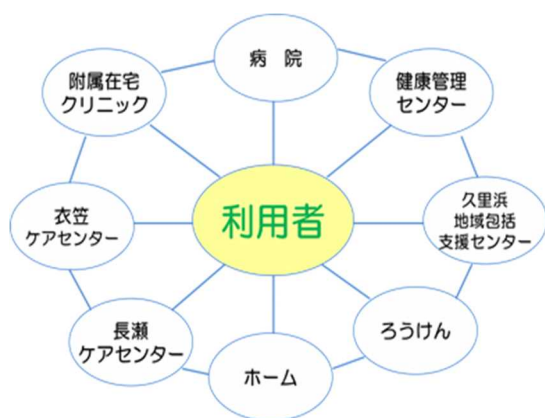
会員の皆様におかれましては、コロナ禍において様々なご努力をされていることと存じます。
衣笠病院は1947(昭和22)年8月に「日本基督教団衣笠病院」として開設し、今年8月で創立74周年を迎えます。

決して忘れてはいけない出来事として、61年前、1960(昭和35)年1月の火災があります。新生児8人を含む16人が犠牲となり、青嶋ミチヨ看護師は、数回にわたり火の中へ入り、新生児5人を救出しましたが、殉職しました。翌年1月には殉職した青嶋ミチヨ看護師の顕彰碑が横須賀市社会福祉協議会により建立され、今日まで毎年追悼礼拝が守られています。地域の方々、罹災者のご遺族より早く診療を再開するよう声があがり、再建することができました。二度と病院火災を起こさないためにも、火災についての当時の状況を職員研修で周知し、毎月災害訓練を行っています。

年々、地震、台風、豪雨、大雪等の自然災害が増加しており、今後、いつどのような場面で自然災害に遭遇するかわかりません。火災に限らず甚大な災害が発生していますので、毎月各施設の災害対策メンバーと災害について検討しています。

現在、コロナ禍の中、衣笠病院グループは衣笠病院・健康管理センター・衣笠ホーム・衣笠ろうけん・ケアセンター(衣笠・長瀬)・葉山町デイサービス・衣笠病院附属在宅クリニック・久里浜地域包括支援センター等を展開し、地域の皆様に安全・安心な「保健・医療・福祉」を提供できるよう努力しておりますので、引き続き横須賀市消防局を始め各消防署、横須賀危険物安全協会の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

このような状況の中ではございますが、会員の皆様のご健康と益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



青嶋ミチヨ看護師の顕彰碑

《ガソリンスタンドでの中古車販売やキッチンカーの営業販売》

消防危第88号 令和2年3月27日通知

給油取扱所における屋外での物品の販売等の業務に係る運用について

令和2年4月1日より、ガソリンスタンドにおいて、火災予防上の危険がある等の場合を除き、建築物の周囲の空地においても物品販売等の業務が行えることとなりました。

中古車販売やキッチンカーでの営業販売などを行う場合には、予防規程の変更認可申請が必要になります。予防規程に、物品販売等の業務を行う際、可燃性蒸気の滞留する恐れのある範囲で電気機器を使用しないことや、その他の留意事項などの規定を追加し、認可を受ける必要があります。



ガソリンスタンドで

「出来ること」が増えています！

物品販売などでご不明な点がございましたら、
事前に消防局へご相談ください。

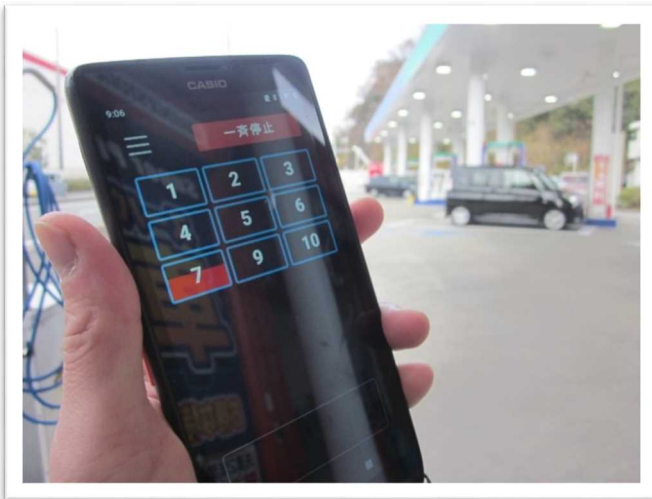
《ガソリンスタンドでのタブレット端末による給油許可》

消防危第87号 令和2年3月27日通知

顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所における可搬式の制御機器の使用に係る運用について

令和2年4月1日より、セルフスタンドにおいて、タブレット端末などの可搬式の制御機器によって給油許可等を行うことができるよう技術上の基準が整備されました。

タブレット端末などの可搬式の制御機器を導入する場合、変更許可申請と予防規程の変更認可申請が必要になります。タブレット端末の仕様や電波を受信するビーコンの取り付け位置などについて許可を受け、予防規程にタブレット端末の操作や給油許可する際の留意事項などについて条文を追加し、認可を受ける必要があります。



横須賀市内でも、
すでにタブレットを導入している
セルフスタンドがあります！

《申請書等への押印の廃止》

消防危第284号 令和2年12月25日通知

危険物の規制に関する規則等の一部を改正する省令の公布について

令和2年12月25日付で、消防法施行規則及び危険物の規制に関する規則等が改正され、防火対象物・危険物施設関係の申請・届出様式の押印欄が削除されました。

この改正に伴い、今後は防火管理、消防用設備（点検関係を含む。）や危険物関係の申請・届出の際に押印が不要となります。

横須賀市消防局のホームページに、改正の概要や改正後の様式を掲載していますので、申請・届出の際にご活用ください。

(URL <https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/7415/ouinnhaishi.html>)



(QRコード)

令和2年中の横須賀市消防局管内における火災・救急 出場件数等

(横須賀市消防局 令和2年 消防活動状況(速報)より)

～火災の件数・火災の種類～

火災件数は 108件 で、昨年と比べて46件減少しました。また、建物火災のうち、住宅(専用住宅・共同住宅・併用住宅)から発生した火災は50件で、昨年と比べて6件減少しました。

発生場所	火災件数	火災種別					
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
横須賀市	95	57	0	13	0	0	25
三浦市	13	4	0	2	0	0	7

【内訳】(火災件数) 横須賀市95件(42件減少)、三浦市13件(4件減少)

(住宅火災件数) 横須賀市46件(2件減少)、三浦市4件(4件減少)

【内訳】(死者) 横須賀市5人(9人減少)、三浦市1人(1人増加)

(負傷者) 横須賀市17人(3人増加)、三浦市4人(2人減少)

～主な火災の原因～

火災原因の第1位は「放火(疑い含む)」で22件、第2位は「電気関係」で18件、第3位は「たばこ」で15件でした。

発生場所	第1位	第2位	第3位
横須賀市	放火(疑い含む)(21)	電気関係(18)	たばこ(13)
三浦市	たばこ(2)・各種こんろ(2)		放火(1)

～火災による死者と負傷者の状況～

火災による死者は6人(うち放火自殺者0人)で、昨年と比べて8人減少しました。また、そのうち5人が65歳以上の高齢者でした。火災による負傷者は21人で、昨年と比べて1人増加しました。

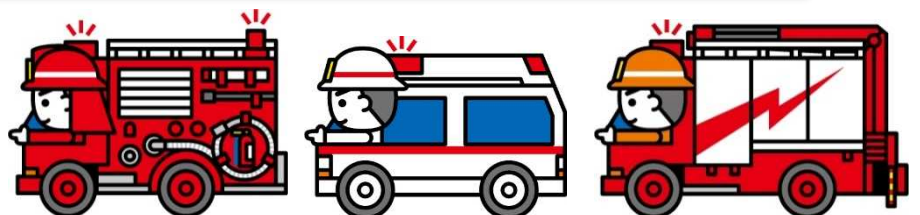
【内訳】(死者) 横須賀市5人(9人減少)、三浦市1人(1人増加)

(負傷者) 横須賀市17人(3人増加)、三浦市4人(2人減少)

～救急隊の出動状況～

救急出動件数は24,307件で、昨年と比べて3,291件減少しました。

【内訳】横須賀市21,657件(2,837件減少)、三浦市2,650件(454件減少)



つけないとは言わせない！

あなたの命を守るものだから
お願いします。

住宅用火災警報器を設置してください！

設置することで死者
が約6割減少するん
です。

設置することで全焼火災が
約7割減少するんです。

住宅火災から命を守るた
めに住宅用火災警報器の
設置が必要なんです。

設置してから10年が
交換の目安です！
忘れずに交換
してください！

もしものときのために定
期的に点検や清掃をす
ることが大切なんです。



大切な命と財産を守る 住宅用火災警報器

■お問い合わせ先

横須賀市消防局

予防課

046-821-6466

中央消防署 046-820-0119

南消防署 046-836-0119

北消防署 046-861-0119

三浦消防署 046-884-0119

横須賀市消防局オリジナル！

住宅用火災警報器普及啓発ポスター★

発行日 令和3年2月22日

発行者 横須賀危険物安全協会 会長 大庭 大

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話 046(821)6476



横須賀危険物安全協会ホームページ

QRコード